

彫金のデザイン支援

【相手先企業】

有限会社 東光堂

【目的】

対象企業の保有する銅や真鍮の創作技術をコア技術として、マンションや現代住宅に合わせた製品のデザインを支援することとしました。

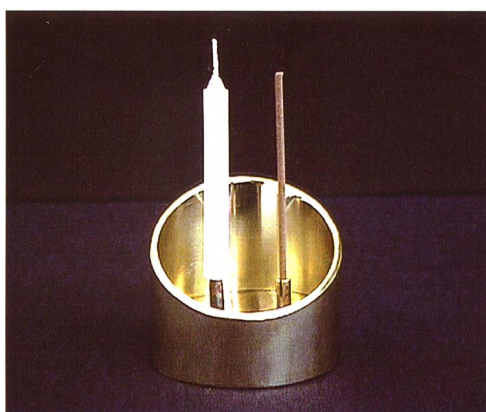
【内容】

デザイン開発に関する技術相談の対応方法として、アイデア発想方法のひとつであるブレインストーミングを用いました。

【成果】

一般的な認識から、デザイン技術に求められる成果物として、アイデアスケッチや立体モデルが要求されますが、その効果は一過性に過ぎません。重要なことは自社の持つコア技術を使うことにより、消費者やユーザへ魅力ある商品提案をすることにあります。

写真のように、対象企業のコア技術を使い、センター職員とのブレインストーミングにより、新たな製品（仏具）を開発することができました。



ろうソク立て（真鍮製）



香台（真鍮製、天然石付）

基礎となった事業：試験研究指導費（平成17年度）

担当部署：産業連携室